

学校だより

調布市立調和小学校
令和5年10月31日(火)
校長 武田 美穂子

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

うまいくかもしれない、うまくいかないかもしれない

校長 武田 美穂子

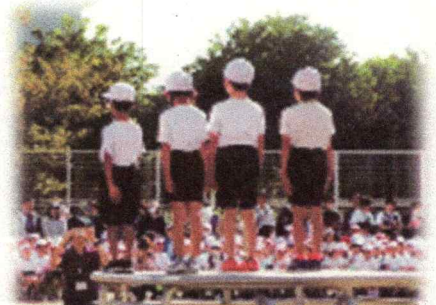
木々の彩りの鮮やかさに秋の深まりを感じる今日この頃となりました。皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。おかげさまで10月7日土曜日に令和5年度のスポーツフェスティバルを開催することができました。当日は多くの方に参観をいただきました。事前の準備、当日の児童の活躍、そして一人一人が力を出し切った短距離走や表現運動。たくさんの方からねぎらいの言葉や、拍手での応援をいただいたおかげで多くの児童が達成感を味わうことができたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

残念ながら現在、インフルエンザや風邪の症状等、体調を崩す児童が多くなり、学級閉鎖や学年閉鎖を余儀なくされています。閉鎖中、各ご家庭のご協力によって、児童はゆっくりと休養、静養に努めていただいたおかげでどの学級も無事、通常の学校生活に戻りつつありますがまだまだ油断はできない状況です。

通常の授業でももちろんですが、一人一台のタブレット端末を活用することによって、さまざまな学習の方法や新たな世界を垣間見ることが出来ます。新聞やニュースなどからも、日常生活の至るところでICT機器を活用し、利便性の向上や安心・安全の確保が進んでいます。身近にICTの進化を感じるできごとあらゆる場面で多くなってまいりました。

特に今回の学級・学年閉鎖においてもメール配信でいち早く学級・学年閉鎖の実施を保護者の皆様へお伝えしたり、家庭学習の課題や資料を配信したり、健康観察の報告、明日からの登校に向けてのオンライン朝の会の実施…。便利な時代になったなあと思いました。同時に、発信・受信をすることによって情報の共有が図られるツールとして大変有効であるということは、皆様にもご理解いただけていることと思います。

では、これらのツールがなかったらどうなっていたでしょうかと時として考えることがあります。一つの文書を読んでも、うまく伝わらないことがあります。何かを説明をしても、全員の児童が一回で完璧に理解するというのもあまりありません。教師と子供という関係だけでなく、大人と子供、保護者の皆様とお子様といった



第1学年代表児童による「はじめのこぼ」

家族の関係の中ではいかがでしょうか。言葉だけでなくノンバーバルコミュニケーション(non-verbal:「非言語」「言葉を使わない」といった意味の言葉で、非言語コミュニケーションとも呼ばれます。うなずき、表情、目線、声の大きさやトーン、仕草などから感じ取るコミュニケーション能力の一つです)により、相手に安心感や伝えたいメッセージを膨らませてくれる役割でもあります。それらを感じ取る力や受け止める力を付けることで、相手の気持ちを深く理解したり、信頼関係を築いたりして、お互いが気持ちよく過ごすことの一助ともなります。



649人の児童が一つ屋根の下で穏やかに生活し、落ち着いて学習するためにも、お互いの考えや気持ちを言葉や様々な表現でもって伝え合うことは大変大切なことです。今年度、教員が1年間をかけて研究活動に選んだテーマもこの「伝え合い」を主としたものです。また、11月に実施予定の学習発表会は、学年で教科や領域の学習の中からテーマを掲げ、全員で取り組む大きな行事となります。一人一人が自分の役割を自覚し、友達と一緒に学びを深める「協同的な学び」を主とした学習の成果を発表することをねらいとしています。学年全体での表

現でも個々の考えを伝え合い、表現し合う文化的な行事は、学校教育ならではのダイナミックな活動ができる行事でもあります。一人ではできないことでも、友達や大人と協力すればうまくいくかもしれない。でも、うまくいかないかもしれない。けれど、みんなといっしょだったらうまくいくかもしれない。たくさんの「~かもしれない」の体験から多くのことを学べる機会になるよう教職員も全力で児童を支えてまいります。



感染症等の流行により今回の行事も一部、入場の規制を設けさせていただくこともあります。どうぞ皆様、ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。朝晩冷え込んできています。くれぐれもご自愛の上お過ごしくださいませ。